



## 浜名湖弁天島100mプール跡（浜名郡舞阪町弁天島）

大正10年(1921)、田畑政治の中学・高校・大学の先輩であり、浜名湾游泳協会の幹事で資産家の長谷川鐵雄が、弁天島に長さ100m、幅30mの海水プールを建設。ここで第1回浜名湾全国競泳大会が開催されたが、大阪の茨木中学校が頂点に立った。田畑らは茨木中の連覇を阻むべく、選手を叱咤激励し、翌年の第2回大会では浜名湾勢が茨木中に勝つことができた。長谷川はプールの横に大衆向けの海水浴場と演芸場を兼ねた楽園と呼ばれる巨大施設を建設した。

弁天島は多数の海水浴客で賑わいを見せるようになり、立派な100mプールは楽園プールと呼ばれた。



楽園プールでの水泳大会



楽園の巨大施設